

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 37 号 (2023 年 2 月 14 日発行)

昨年のふるさと新宿区わがまち応援寄附金には多数のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

立春は過ぎましたが、事務局のある東京都内でも積雪があるなどまだ寒さの厳しい日が続きますので、皆さまどうぞご自愛ください。

本号の内容

- ・地方会員へのサポートをお願い致します
- ・スキーオリエンテーリングジュニア世界選手権 2023 報告
- ・MTBO 委員会活動報告
- ・2023 年度 全日本大会(スプリント、リレー) 開催予告
- ・今後の公認大会・講習会のお知らせ

●地方会員へのサポートをお願い致します (副会長 愛場、地域活性化委員会委員長 新帯)

地方会員の現状

日本オリエンテーリング協会(JOA)は、都道府県を単位とする正会員から成り立っています。現在 37 の都道府県が加盟しており、これに加えて日本学生オリエンテーリング連盟と日本デフオリエンテーリング協会が正会員です。この各都道府県協会(以下県協会と略します)の運営、維持が困難になってきているところが、大都市圏やその近郊を除くと増えてきています。

以前から県協会は、多くの人のボランティアかつ献身的な努力で支えられてきました。しかし、特に競技人口が少ない地域では、支える人の高齢化が進み、県協会組織の維持が難しくなりつつある一方で、収益を上げるようなイベントを開催することも財政的な面からままならず、それによる活動の停滞という悪循環に陥っている状況です。

JOA の取り組みとしては、地域活性化支援金の交付などを行ってきましたが、そのための事務手続きすら困難な県協会もあるようですし、またその資金源にも限界が見えてきています。過去においては、個人レベルの頑張りや維持、活動してきたところもありますが、個人の力では限界があります。各県協会の維持には多くの方々の力が必要ですので、改めて多くの皆様のご協力をお願いする次第です。

地方会員組織がなくなると

県協会がなくなってしまうと、その地域でオリエンテーリングのイベントを開催することは、地元交渉などの面から極めて難しくなります。参加できるイベントがないと、オリエンテーリングを知る機会が無くなりますので、新しい人が育ちません。

また、日本のスポーツ界においては、多くの場面で都道府県という行政区域単位で話が進められますが、例えば大きなマルチスポーツイベントの企画があったとしても、受け皿がなければそれにオリエンテーリングが参画することがほぼ不可能になってしまいます。県協会の組織がなくなってゆくことは、単に JOA という組織、会員数の維持という問題だけではなく、日本でのオリエンテーリングの衰退につながります。

一方、参加者・競技者という立場から見ると、地方にはまだまだ魅力的なトレインがあると思われ、未知のトレインを走ってみたいと思われる方も多いのではないのでしょうか。そのためにも地方の県協会の喪失は何としても避けたいところです。

考えられる対策

この現状に対して、JOA 地域活性化委員会ではいくつかの対策案を検討しています。課題としては、人的な支援対策と、金銭的な支援対策が大きなテーマですが、地方行政や教育界とのかかわりも大切であると考えています。

1)集まって楽しむ場を作る

人手をかけずに楽しめるフィールドの確保と集まる機会(大規模でなくともよい)の創作。そのための青少年向け野外活動施設との協力やパーマネントコースの見直し。

2)人的ネットワークを作る

競技者登録者への情報発信。ブロック単位での共助。全日本リレーなどを利用した人的交流の促進。

3)資金的バックアップ

支援したい県に競技者登録費を納める「ふるさと納税」制度。支援基金の設立。地域やブロックを支援するための大会を人口の多い地域で開催する。JOA 会費のあり方の見直し。

他にもさまざまな方法があるかと思います。皆様からのアイデアを募集したいと思います。

積極的なサポートのお願い

オリエンテーリングの愛好家の皆様には、改めて地方会員組織の活性化に向けてのご協力をお願いしたいと存じます。

まず出来ることは、地方の大会に参加することかと思えます。練習会として、あるいは観光がてら、未知の地方のイベントに出てみてはいかがでしょうか。魅力的なトレインが待っているかもしれません。

そして、可能であれば皆様がお持ちの技術、ノウハウ、さらにその大元にある情熱を各県協会の活性化のために提供していただけないでしょうか。県協会組織も世代交代を進めてゆく必要があります。特に若い皆さんには、出身地であるかどうかにかかわらず、興味を持った地域の協会の方に積極的に声をかけていただき、その地域のオリエンテーリングに参画していただけることを期待いたします。

●スキーマリエンテーリングジュニア世界選手権 2023 結果報告 (スキーO 委員会)

スプリント

女子

1 Ella Turesson (SWE) 15:19
36 岩渕七海 (日本) 38:41

男子

1 Albin Gezelius (SWE) 13:07
28 寺嶋謙一郎 (日本) 16:12
34 岩渕泳人 (日本) 24:18

ミドル

女子

1 Alina Niggli (SUI) 24:48
37 岩渕七海 (日本) 91:57

男子

1 Teodor Mo Hjelseth (NOR) 23:41
30 寺嶋謙一郎 (日本) 28:40
34 岩渕泳人 (日本) 53:43

マススタート(ロング)

女子

1 Lotte Line Ekstrom (FIN) 57:38
岩渕七海 (日本) DNF

男子

1 Teodor Mo Hjelseth (NOR) 54:27
14 寺嶋謙一郎 (日本) 61:16
26 岩渕泳人 (日本) 84:08

リレー

男子

1 フィンランド 1 91:31
2 スイス 93:25
3 スウェーデン 1 93:41
8 日本 176:32 (寺嶋謙一郎 / 岩渕泳人 / 岩渕七海)

日本選手紹介

女子

岩渕七海 (八幡平市立松尾中学校)

男子

寺嶋謙一郎 (東京農業大学/ES 関東 C)

岩渕泳人 (岩手県立盛岡第三高校)

●MTBO 委員会活動報告 (MTBO 委員会委員長 嶋岡)

2022 年 年末イベントの開催

2022 年 12 月 30 日に愛知県知多市にて開催。練習に加えて、毎年お世話になっている地元の方との交流を実施しました。

シクロクロスレースへの参加

MTBO 競技としては秋～冬はオフシーズンであるため、フィジカルとバイクコントロールのトレーニングも兼ねて、シクロクロスのレースに各々が参加しました。初めは下位カテゴリからの参加となりますが入賞により上位カテゴリへの昇格が可能であり、今シーズンでは MTBO 関係者から以下の者が昇格しました。

阿部(稜)	C4 → C2
嶋岡	C3 → C1
阿部(花)	L2 → L1
大類	L2 → L1

2023 年 世界選手権遠征の情報収集

今後の活動予定

- ・マスターズ世界選手権 (5 月 スロベニア)
- ・世界選手権 (8 月 チェコ)
- ・代表選考会
- ・広報活動
- ・世界選手権に向けたトレーニング合宿

●2023 年度 全日本大会(スプリント競技部門、リレー) 開催予告

第 16 回全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)を 2023 年度冬季に東京都にて開催いたします。

また、第 32 回全日本リレーオリエンテーリング大会を 2024 年 2 月 4 日(日)に佐賀県にて開催いたします。

詳細については順次 JOA もしくは大会 Web サイトにて公開してまいります。

●今後の公認大会・講習会のお知らせ

3 月 10 - 20 日	イベントディレクタ認定試験	
11 月 4 日	第 12 回全日本大会(ミドル・ディスタンス競技部門)	(千葉県)
11 月 5 日	第 50 回全日本大会(ロング・ディスタンス競技部門)	(千葉県)
冬季	第 16 回全日本大会(スプリント競技部門)	(東京都)
2 月 4 日	第 32 回全日本リレーオリエンテーリング大会	(佐賀県)

以上